

三重県のNPOを応援する情報誌 **リーダー**

READER

2016

6

2016年5月25日発行
通巻210号

海を渡る





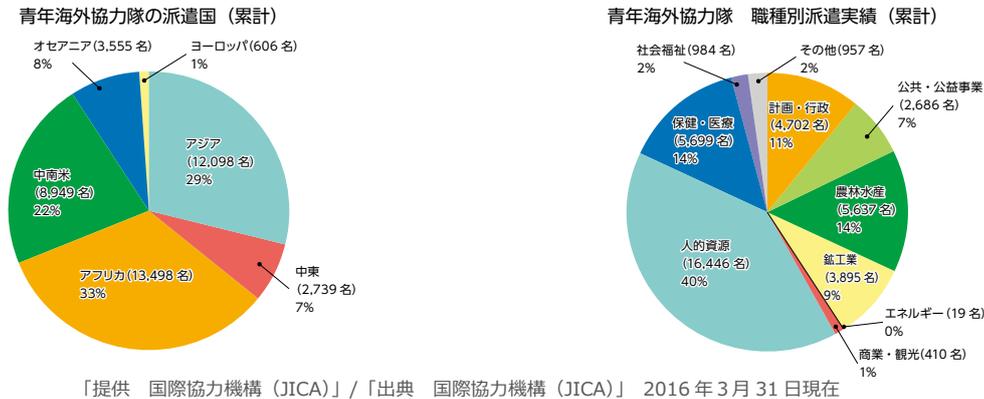
JICA ボランティアのハナシ

～青年海外協力隊・シニアボランティア～

今回は、JICA でボランティア活動をされた3名の方々にお話を伺いました。

※JICA ボランティアとは…

お互いの価値観、生活様式・文化を尊重し、直接ふれあい、交流しながら、貧困問題、環境問題などその国の抱える問題に取り組み、経済や社会の発展に貢献することを目的としたボランティア。



桐山 武士さん

理科・数学教師としてマラウイへ派遣、現在は一般企業で勤務（現職参加：会社の休職制度を利用して参加）

青年海外協力隊へ応募したきっかけは？

学生のころから海外に興味があり、就職して2年ほどたってから、これからどうしていきたくかを考えた時、海外に出てみたいと思いました。海外でなにかできないかと探している中で青年海外協力隊にたどり着きました。途上国へ行きたかったのは、途上国の人たちはどんな生活をしているのかを知りたかったからです。日本で生活していると必要なものはすぐ手に入るし、サービスも整っています。一方、途上国では快適とはいえない環境の中で現地の人は何を感じ、どのようにして生活しているのかに関心をもったからです。

現地ではどんな活動をしていましたか？

日本でいう中学校と高等学校で、物理と化学を教えていました。マラウイは、小学校が義務教育で中高からは小学校の成績によって学校が決められるシステムになっています。さらに、中高等学校の卒業資格を得るには、国家試験に合格しなければなりません。そのため、試験の答えさえ分かれば良い、テストに合格できればいい、という思考が強くカンニングも多々みかけましたし、計算過程がなく答えだけが書かれた解答用紙を目にすることもよくありました。良い点数を取りたいという気持ちも分かりますが、日本の教育を受けている自分たちからすると、重要なことは点数をとることではない、と思いました。また、生徒は教科書も持っておらず、教材も十分でない状況でいかに指導していくか悩みました。そんな、マラウイの状況に教育システムの限界を感じました。さまざまな制約の中で、授業では追いつけない範囲は教科書のコピーを掲示板に貼り、生徒に学んでもらえるよう工夫したところ、いつの間にか現地の周りの先生も同じように生徒たちのために工夫するようになっていました。

活動を通じて感じたことは、日本がいかに恵まれているか、ということでした。現地では生きることに精一杯で収穫前の食料がない時期には食物の取り合いで暴動が起きたり、都会では強盗や空き巣が起きることも多々あります。そのような状況を目の当たりにしていくうちに、日本で当たり前だと思っていた出来事が素晴らしいことなのだと思うようになりました。（マラウイに）行く前とは違った見方で日本を見ることができるようになりましたね。

今後はどんなことをしていきたいですか？

日本はムラ社会で、閉ざされた環境であると感じることがあります。従来のやり方を残しながらも海外のやり方や新しいアイデアを取り入れていくことも必要だと思います。そういう風にしていかないと日本企業は海外企業との競争に勝ち残れないのではないのでしょうか。特に、日本で働いている人も海外にでて視野を広げてみて欲しいです。企業で働く者の1人として、海外で生活した経験を活かして、企業の海外進出のサポートやこれから海外で生活しようとする人のお手伝いをできればと考えています。チャンスがあれば、自身も再び海外で働いてみたいです。



伊原 真央さん

公立学校の教師としてボリビアに派遣され、現地の教育関係者に教育指導を実施。現在は小学校教師。

青年海外協力隊へ応募したきっかけは？

子どもの頃にアメリカに住んでいた経験が原点です。アメリカへ行く前は、言葉も分からず困るだろうと思っていましたが、現地にいる周りの人たちにとっても助けられました。そこでもらった感謝を返したい、そんな思いで学生のころからボランティアをしていました。日本で短大を卒業してそのまま教員になりましたが、自分自身の人生経験が浅く、自分は子どもたちになにを語れるのか、と考えるようになりました。途上国で起こっている問題に直面し、ネット上や教科書に載っている事だけではなく、実際に自分で確かめたい、そして子どもたちに伝えられるようになりたいと思い青年海外協力隊を志望しました。

現地ではどんな活動をしていましたか？

ボリビアの公立学校で日本式の教育スタイルの導入、教員の授業力を向上させるため派遣されました。マラウイと同じようにボリビアの学校でも暗記中心の授業スタイルが確立されていました。暗記では答えをだすまでのプロセスについて考えることがないため考える力がつかない、先を見通して考える力をつけられないため、そこを改善していきたいという視点をもつ現地の校長先生と、工夫しながら教育スタイルを確立していけるよう努めました。

教育はお金をかけても成果がすぐにはみえにくいいため特に途上国では教育にはお金をかけられないという現状がありました。校長先生は「この国の人たちは先を見通して考える力が乏しいため、未来を担っていく子どもたちのために投資をしようと考えることができないんだよ」と話されていたことが記憶に残っています。教育システムを整えれば人も育ち、国も成長していく、ということに気がつき、実現していくには時間がかかり、難しいことだなあ・と痛感しました。

今後はどんなことをしていきたいですか？

お金のためだけでなく、目の前の子どもたちを育てていくということに熱心になる先生たちに出会い、無償の愛を感じました。また日本では社会や人の目を気にしてしまうことがあると思いますが、そのような考えはあまりなく、純粋さをもち心にゆとりがある人が多かったです。そんな姿を見て、私も相手を尊敬する気持ちを大切に目の前のことに一生懸命取り組んでいきたいと思います。現在は教育の現場で働いているので、自分の経験を子どもたちにも話していきたいです！



安田 典夫さん

農業技術センターで培った技術を活かし土壌肥料、コンポストづくり指導のためネパールへ派遣

シニアボランティアへ応募したきっかけは？

現職時代に、アフリカやネパール、フィリピン、タイなどさまざまな国の人々が研修生として日本へ来ていました。そこで研修生に指導していた経験があり退職後なにをしようかと考えていた時、JICAのシニアボランティアで「土壌肥料」での募集があり、1年早期退職をしてボランティアに参加しました。

現地ではどんな活動をしていましたか？

ネパールの農業発展・農民の所得向上に貢献するため、派遣されました。農業を発展させるためには土の質が良くなければなりません。そこで土

の性質を変えるため、土壌分析の指導やコンポストづくりをおこなっていました。私の英語が通じるのか不安もありましたが事前研修もあったので、現地でも日々のコミュニケーションをとることができました。現地の方にネパール語も教えてもらい、仕事では英語、日常ではネパール語を使い、最初の何カ月かは頭が痛かったです。そんな中でも余暇には山登りを楽しむことができ、小さいことは忘れてしまうほど、ネパールの山々から見る景色はすばらしかったです。

活動を通じて感じたことはどんなことですか？

現地で何もかも1人でしていけないといけないので、強くなれると思います。私が活動していたネパールにも多数の青年海外協力隊があり、2年間ですがどんどん遅くなっていく様子を見ておりました。日本と比べると途上国での生活は不自由ですし、辛いことの方が多いですが、会社員でも公務員でもこの経験は生きてくることが多いのではないのでしょうか。今後は自分の活動を若い人へも話していきたいですね。

三重ぐるり

MIEGURURI

「三重ぐるり」のコーナーでは、毎号テーマを設け、そのテーマに沿った三重県内の市民活動団体を紹介しています。今月号のテーマは「国際協力」。国内外の外国人支援や国際交流など、国際色豊かな市民活動団体を県内各地の市民活動センターから紹介していただきました。

情報提供：四日市市なやプラザ

NPO 法人 国際資源活用協会

〒510-0052 四日市市末広町 10 番地 ☎059-350-3771 ✉npoikrspkak@car.ocn.ne.jp



インドネシア研修生リサイクル石鹸づくり実習

シニアの技術能力（資源）を活かし地球環境の保全・国際協力および平和の推進に寄与することを目的に設立いたしました。

海外活動としまして、中国、韓国での食品会社（砂糖製造）の省エネ、生産性改良のコンサルタント事業がございます。また、フィリピンにおいて会員が火山灰地の改良とともに街角に山と積まれている生ごみの処理対策に取り組んでおります。

当協会事務所において JICA の海外環境研修生を対象に廃食油リサイクル活動紹介とリサイクル石鹸づくりの実習を行っております。

国内では、2005 年に開催されました「愛・地球博」に市民プロジェクトとして参加し、万博会場の使用済み食用油の回収と有効利用を行いました。これを契機に現在四日市市周辺のレストラン、食堂、幼稚園、市民センター、個人から使用済み食用油回収を行って、有効再利用により CO2 削減に取り組んでおります。

会員ならびに賛同者（賛助会員）は常時募集しております。気軽にお声をかけてください。

会員の経験、好奇心を活かした活動展開を目指しております。環境関連に限らず自らの経験を活かしたいと思う方、ぜひ入会していただき挑戦してください。

ホームステイ・イン津実行委員会

情報提供：津市市民活動センター

〒514-0112 津市一身田中野 421-1 ☎059-231-0050 ✉telly123@violin.ocn.ne.jp



第 22 回 Waiwai GAGA FESTA の開会式

津市政 100 周年を記念し、来津した多数の外国人をホームステイさせる事業が会の出発点です。現在は活動範囲も広く年間多くの事業に取り組んでいます。

- 1、各国から大学、高校にきている留学生や研修生および国際交流団体からの依頼によるホームステイ事業
- 2、三重大学留学生を対象とした第二の故郷（セカンドホーム）事業
- 3、世界の料理交流で会員相互の親睦を図る事業
外国人を講師に出身国の料理をみんなで作っています。
- 4、津祭り協賛フリーマーケットに出店し活動資金の一助にしています。
- 5、津市国際交流デーに参加しています。
当会の広報活動や、外国人に「着物の着付け」を行い、日本文化の一端を体験していただけます。
- 6、ワイワイガヤガヤフェスタの開催
当会の最大のイベントです。今年で 23 回目、多くの市民に親しまれるフェスタとなっています。

当会のホームページをご覧ください。
<http://homestay-in-tsu.org/>

会員数 130 名余の国際交流ボランティア団体で、津市を中心にさまざまな活動を行っています。「草の根の国際交流」「普段着のお付き合い」がモットーです。

NPO 法人 JAMBOF (Japan And Myanmar Bridge Of Friendship)

☎ 0598-59-1586 (事務局・竹守さん) ✉ takemori@mctv.ne.jp 🌐 <http://jambof.main.jp/>



ヤンゴンの僧院を訪れたときのようす

ミャンマー連邦（以下、ミャンマー）に惹かれ、思いのある人が集まり、日本とミャンマーの“友情の架け橋”となることを目的に 2002 年から活動しています。これまで現地に 5 カ所の小学校を建設、1 カ所の孤児院の運営に携わってきました。現在は孤児院・僧院学校の支援に力を入れています。僧院学校は、貧しくて学校に通えない子のために僧院が無償で開放する“寺子屋”のようなもの。昨年 12 月には、メンバーがボランティアツアーを企画し、日本で寄付を集めた鉛筆（2320 本）・ボールペン（393 本）を現地の子どもたちに手渡し、交流を深めました。

また現地の声を聴き、生活に寄り添う支援を進めるなかで、新たに見えた課題の解決にも力を入れています。ミャンマーは途上国では珍しく、識字率 90% を超えるほど教育熱心な一方で、児童書の数が少ない現状があります。そこで子どもたちに読書に親しむ機会を提供しようと、現在、移動図書館の開設（今年夏目標）へ向けて準備を進めています。

現地での活動以外にもミャンマーについて理解を深めてもらうために、市内でチャリティバザーや講演会などを開催しています。6/4（土）・5（日）には松阪マームでミャンマーの物品販売を行います（収益はすべて現地支援に役立てます）。活動に関心のある方は、お気軽にご連絡ください。

移動図書館は車でヤンゴン近郊の村、学校に本を運ぶ予定です。現地の日本人と連携し、車の調達、運転手との調整、本の準備等を進めています。ミャンマーの本はもちろん、日本の絵本も翻訳し、子どもたちに届けます。

いせ日本語教室

516-8601 伊勢市岩渕 1-7-29 (伊勢市役所) ☎ 0596-21-5549 (国際交流協会事務局) ✉ kouryu@city.ise.mie.jp



ゆかたパーティー

“いせ日本語教室”は、伊勢市内外に住んでいる、または仕事などで関わっている外国の方に「日本語」を通じてお手伝いをしているボランティアグループです。

伊勢にも、それぞれの目的で、いろいろな国の方々が来られており、滞在期間も人により違っています。そのような方が伊勢、そして日本に居ることに困ることのないように、また、日本語でのコミュニケーションがとれるように、お手伝いをしています。

「日本語」の学習を支援することはもちろん、文化や行事等で交流したり、生活する上でのよろず相談に至るまで、さまざまな対応をしています。外国の方の日本での日々の生活が楽しくなったり、また帰国後も日本語の学習を続け更にレベルアップしてテストに合格したとの嬉しいお話を聞くこともあります。私たちスタッフは、特に“日本語”の支援をする上で、必要な知識やスキルを身につけるため、専門家の講座を受ける等、意識の向上を目指し、日々努力をしています。

まずはお電話ください！

現在、いせ市民活動センター 2 階で、週 2 回（火曜日：10 時～ 11 時半と木曜日：19 時～ 20 時半）、教室を開催しています。一度、見学に来てください。

募集のご案内

簿記講座開催のご案内

ユニバーサル就労センターでは、利用者の症状に合わせ、独自のプログラムを使いながら、ひとりひとりの就職支援をしています。

4月より、簿記の基本を学びながら、日商簿記3級の資格修得を目指す講座がスタートしました。講師は税理士の渡邊先生です。利用者からはとてもわかり易いと好評です。関心のある方は、気軽にお問い合わせください。

場 所 ユニバーサル就労センター（四日市市諏訪栄町3-4 伊勢おやき本舗3F）

講 師 渡邊税理士

対 象 障害者手帳をお持ちの方、通院中の方
<お申込み・お問合わせ先>

TEL & FAX 059-355-2205 (担当：鈴木)

開催日時 火曜～金曜日 9:00～18:00
土曜日 9:00～14:00

✉ univa2015@yahoo.co.jp

※詳細はお問合せください

平成27年度共同募金会助成事業 子ども支援者養成講座

子どもの心を受け止める子ども専用電話 チャイルドラインMIE
「受け手養成のための講習会」

チャイルドラインは、指示しない・指導しない・傾聴することで、かけ手である子どもがエンパワーメントすることを支援する電話です。実施拠点は三重県内7カ所あります。あなたも講習会に参加して、受け手ボランティアをしてみませんか。

日 時 6月12日(日)・18日(土)・19日(日)・26日(日)・
7月2日(土)・3日(日)

※時間・講演内容・講師など詳細はHP参照

場 所 6月12日(日) は、みえ県民交流センター
イベント情報コーナー(アスト津3階)
6月18日(土)以降は、三重県津庁舎6階
大会議室(津市桜橋3-446-34)

参加費 大人……………6,000円
ユース(12歳～25歳まで) ……3,000円
1プログラムのみ 大人……………2,000円
1プログラムのみ ユース ……1,000円

お申込み・お問合せ先 NPO法人チャイルドラインMIE ネットワーク
〒514-0125 津市大里窪田町2709-1

TEL & FAX 059-211-0024

✉ info@childlinemie.net

HP <http://www.childlinemie.net/>

世界に繋がる海 IN 2016

伊勢志摩サミットの賢島・英虞湾を船から見学、カヌーやカッター体験もできます。

日 時 2016年7月2日(土) 9:00～17:00

●集合場所：三重交通鳥羽バスターミナル(近鉄鳥羽駅下車すぐ)

場 所 鳥羽市～賢島、英虞湾、南伊勢町五ヶ所

対 象 主として小学5・6年生、中学生

定 員 50名

参加費 1,000円(昼食、飲料水、保険付)

事前申込 FAX または mail にてお申込みを願います。
※申込締切 6月30日(木)

問合せ先 NPO法人 故郷の海を愛する会

電 話 0599-25-8045

故郷の海を愛する会 イベント事務局

FAX 0599-25-8128

✉ umiwoaisurukai@yahoo.co.jp

ブログ <http://blog.canpan.info/umiwoaisurukai/>

「第4回森の音楽祭 in Misugi」にぜひお越しください。

私たちは南米ボリビアで国際協力の活動をしています。日本に住む外国の方々と、音楽や踊りを通して、交流をしませんか。美杉町の山と川の自然の中で、家族、友人や知らない人とも心を通わせましょう。小さな川もそばにあって、涼をとったり、水遊びもできます。飲み物や食べ物のブースも出店します。石窯でピザを焼くこともできます。

日 時 2016年7月17日(日) 10:30開場
11:00～15:00

場 所 津市美杉町八手俣佐田191 杣の森の広場

対 象 どなたでも

応募方法 HP 森の音楽祭 申込みフォーム、または FAX
にてお申込みください。

参加費 事前申込1,000円(当日1,200円)

事前申込 できるだけ申込みをお願いします。

問合せ先 NPO法人 DIFAR

電 話 090-9181-4554(事務局 瀧本)

FAX 059-212-0154

✉ info@difar.jp

HP <http://difar.jp/>

募金箱を設置しました

平成 28 年 4 月に発生した熊本を中心とする九州地方の地震では、甚大な被害がでています。少しでも支援になればと思い、アスト津 3 階の交流スペースに募金箱を設置しました。集まった募金の送付先は今後検討し、ご報告させていただきます。みなさまの温かいご協力をどうぞ宜しくお願い致します。



SHO ガッコウ開校します!!

SHO ガッコウとは…三重県で活躍するワカモノたちが集まる「場」。

その名も Super Hot な QTONA のガッコウ= SHO ガッコウ!!!!

ここで生まれた新たなつながりや面白い発見から、三重県をワカモノが輝ける、元気な地域にしませんか? 三重県をワカモノの力で一緒に盛り上げましょう!!

【メンバー随時募集中!!】

- ・対象…18～35歳まで
三重県在住または通勤・通学者、三重で若者とつながりたい、三重を盛り上げていきたい人
- ・登録料…平成 29 年 3 月 31 日までは無料。
※メンバーは講座参加費が無料になります。

第一回：平成 28 年 7 月 23 日（土）

13：30～15：00

「“おもしろい”企画づくりをまなぶ会。（仮）」

ゲスト：藤本 遼さん（26）

紹介：1990 年 4 月 10 日生まれ。兵庫県尼崎市出身在住。「尼崎 ENGAWA 化計画」代表。代表的なプロジェクトは、「amare（あまり）」「オトナテラコヤ」「尼崎ぱーちー」「KIKKAKE Lab.」など。場を編む人。クリエイティブアワード関西 2015 グランプリ。

参加費 500 円（SHO ガッコウメンバーは無料）

主 催 みえ県民交流センター指定管理者
特定非営利活動法人みえ NPO ネットワークセンター

<問合せ先>

みえ市民活動ボランティアセンター

〒514-0009 津市羽所町 700 番地アスト津 3 階
（みえ県民交流センター内）

TEL 059-222-5995 **FAX** 059-222-5971

✉ center@mienpo.net

みえぎんNPOローン 好評取扱中

委託金、助成金等の受け取りまでの「つなぎ資金」として最高1,000万円まで無担保で融資！

対象：三重銀行の三重県下営業エリア内に主たる事務所を有するNPO法人

※ただし、当行所定の審査の結果、ご希望に添えないことがあります。

“地域とともに みなさまとともに”

詳しくはTEL059-354-7130（審査部）まで
URL: <http://www.miebank.co.jp>



三重県の新名物

伊勢おやき本舗

年齢、国籍、性別、障害の有無にかかわらず
ともに働き、ともに成長する「ユニバーサル就労」の店



イベント出店、ご当地おやきの開発など、各種御相談に応じます。

四日市市諏訪栄町 3-4 TEL/FAX 059-355-5115 ssk21ww@yahoo.co.jp

助成金情報

助成金情報はみえ市民活動ボランティアセンターホームページでも多数ご紹介しております

- ① 締め切り・募集期間 ② 対象 ③ 助成金額／表彰内容

国立青少年教育振興機構 平成 28 年度子どもゆめ基金「子どもの体験活動／読書活動助成」(二次募集)

- ① 6月14日(火) 当日消印有効・電子申請は6月21日(火)
- ② 子どもの健全な育成を目的に子どもの体験活動や読書活動の振興に取り組む NPO 法人等
- ③ 1件の上限 100 万円(市区町村規模標準額の場合)

日本財団「平成 28 年熊本地震災害に関わる支援活動助成」

- ① 6月30日(木) 必着
- ② 「平成 28 年熊本地震」による被災者・被災地支援に関わる活動を行う NPO 法人、ボランティア団体等
- ③ 1団体原則 100 万円

朝日新聞文化財団 文化財保護活動への助成

- ① 6月30日(木) 必着 ② 指定文化財を中心とする人類共有の文化遺産を将来の世代に継承をしていく活動に取り組む NPO 団体等 ③ 1件の上限 100 万円

伊藤忠記念財団 子ども文庫助成

- ① 6月30日(木) 当日消印有効
- ② 子どもの読書啓発活動や小児病棟、障害児施設、児童養護施設での読書活動等に取り組む団体、個人
- ③ 子どもの本購入費助成、病院・施設子ども読書支援共 1件 30 万円他

明治安田生命保険相互会社 / 全国老人給食協会 「地域支え合い活動助成プログラム」

- ① 6月30日(木) 必着 ② 高齢者が安心感をもって暮らし続けるしくみづくりの立ち上げ資金や活動中において備品等を必要とする NPO 団体、ボランティア団体
- ③ 活動立ち上げ資金助成：1 団体の上限 15 万円、備品購入資金助成：1 団体の上限 30 万円

太陽生命厚生財団 「ボランティアグループ等が行う事業への助成」

- ① 6月30日(木) 必着 ② 在宅高齢者・障がい者等のための福祉活動や文化活動に取り組む NPO 団体、ボランティアグループ
 - ③ 1件の上限 50 万円(総額 2,000 万円)
- ※「高齢者保健・医療、生活習慣病または高齢者福祉に関する研究・調査への助成」も同時募集中

ヨネックススポーツ振興財団 平成 28 年度助成金(後期)

- ① 6月30日(木) 当日消印有効 ② 青少年スポーツの振興に関する事業を積極的に取り組む NPO 法人等
- ③ 1団体の上限 100 万円(事業予算の 1/2)

スタッフレーム

思いもしなかった出来事に出会った時、大きな助けとなるのが「ボランティアの力」です。私事ですが、兵庫におりました私の親族は 21 年前に起こった震災から半年ほど経った夏、自宅などをうしなつた哀しみから脱け出せず生涯を終えました。喪失感を抱えながらも受けられる支援を受けつつ次へ進むか、立ち止まったまま生きる力を弱めてしまうか。当人にも周囲の人間にもとるべき道が分からなくなる時があります。つい先日まで、不穏な日々を送り続ける老いた身内を見守るのみだった状態から、受けられる支援はありがたく受け、家族間で互いに負担の軽減を図る道を選択した結果、事態に好転の兆しを見出しました。孤立したり途方に暮れたりする方々と、その一助になりたい方々。双方の思いが合致した時に、良き協働が形成される事を実感できたこの数カ月です。この度、「平成 28 年熊本地震」を受け「みえ災害ボランティアセンター」が開設されました。より良き人と人との出会い触れ合いが数多く生まれる事を祈念致します。(伊達)

認定した 特定非営利活動法人
(2016 年 4 月 10 日～2016 年 5 月 9 日認定分)

<ul style="list-style-type: none"> ① 特定非営利活動法人 ReStart-net ② 桑名市多度町香取 344 番地 2 ③ 保健、社会教育、人権、男女、職業能力 ④ 2016 年 4 月 12 日 ⑤ 理事長 佐藤 友子 	<ul style="list-style-type: none"> ① 特定非営利活動法人 地球のいきもの ② 四日市市伊倉三丁目 8 番 10 号 ③ 保健、社会教育、まちづくり、環境、子ども ④ 2016 年 4 月 25 日 ⑤ 理事長 神尾 由恵
<ul style="list-style-type: none"> ① 特定非営利活動法人 空き家サポート・ひまわり ② 四日市市幸町 2 番 18 号 ③ 保健、まちづくり、環境、地域安全、男女、子ども、情報化社会、経済活動、その他 ④ 2016 年 4 月 25 日 ⑤ 理事長 村上 美千子 	<ul style="list-style-type: none"> ① 特定非営利活動法人 成年後見サポートよっかいち ② 四日市市波木町 398 番地 1 ③ 保健、人権、その他 ④ 2016 年 5 月 2 日 ⑤ 理事長 横山 立夫

転載を希望の場合は必ず「みえ県民交流センター指定管理者：みえ NPO ネットワークセンター」に連絡してください。

READER はこちらにあります。

【地域の市民活動センター等】(津 市)みえ市民活動ボランティアセンター/津市市民活動センター/三重大学/看護大学/三重短期大学/高田短期大学 (桑名市)桑名市市民活動センター (いなべ市)いなべ市市民活動センター (東員町)とういんボランティア市民活動支援センター (四日市市)四日市市なやプラザ/四日市大学 (亀山市)亀山市民協働センター (鈴鹿市)市民ネットワークすずかのぶどう/鈴鹿大学/鈴鹿医療科学大学 (松阪市)松阪市市民活動センター (伊勢市)いせ市民活動センター/皇學館大学 (志摩市)阿児アリーナ/横山ビジターセンター (名張市)名張市市民活動支援センター/エコリゾート赤目の森/名張市立図書館/名張青年会議所/名張市総合福祉センター (伊賀市)伊賀市市民活動支援センター/伊賀市立図書館/伊賀青年会議所 (尾鷲市)東紀州コミュニティデザイン (明和町)めいわ市民活動サポートセンター (南伊勢町)南伊勢町町民文化会館 (紀宝町)紀宝町ボランティア市民活動センター

【地域の社会福祉協議会】県内の市町社会福祉協議会

【金融機関・企業等】百五銀行各店/第三銀行各店/三重銀行各店/東海労働金庫各店/県下JAバンク各店/メディカル光各調剤薬局

【行政機関等】三重県庁県民ホール/三重県地域機関(地域防災総合事務所(桑名、四日市、鈴鹿、津、松阪、伊賀) 地域活性化局[南勢志摩、紀北、紀南]/三重県栄町庁舎(情報公開窓口)/三重県総合医療センター/三重県立一志病院/三重県立志摩病院/三重県立こころの医療センター/三重県立こころの健康センター/斎宮歴史博物館/MieMu(三重県総合博物館)/三重県立図書館/三重県生涯学習センター/三重県男女共同参画センター「フレンタみえ」/三重県人権センター/三重県身体障害者総合福祉センター/三重県環境学習情報センター/三重県立熊野古道センター/各市町役場/各市町中央公民館など

協賛

みえ市民活動・ボランティアニュース発行にあたり、協賛をいただいております。

キラリと光るあなたの銀行

第三銀行

三重銀行

百五銀行
FRONTIER BANKING

健全・安心・貢献
東海ろうきん

JAバンク
三重県下JA/JA三重信連

株式会社 阪本事務機

環境にやさしい植物油インキを使用しています。